

同援だより

2015年 新春号(174号)

<http://www.doen.jp/>



新年のご挨拶

理事長 牧野洋一



明けましておめでとうございます。

新年を迎え、皆様のご健勝を心よりお喜び申し上げます。

本年も法人・施設の運営に当たり格別のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

おかげさまで、昨年は、当法人の経営する施設においては、格別の事故もなく、利用者の皆様方に満足いただけるサービスを提供することができたものだと思います。これも、役職員一丸となって取り組んだ結果であり、また、日ごろからの皆様方のご理解とご支援の賜物と感謝申し上げる次第です。

年末に総選挙があり、この号が出る頃には新しい内閣が発足し、日本の進むべき道について新たな方針が発表されることでしょう。いずれにしても昨年から議論されている、社会福祉法人制度の見直しは正念場を迎えることになると思われます。内部留保問題や法人税課税の動き、社会貢献の義務化など社会福祉法人経営をめぐる情勢は非常に厳しいものになると思います。我が法人においても、制度改革への対応や、さらなる経営力の向上に取り組んでいく所存です。

今年は、大山保育園の建て替えが完了し、立川福祉作業所の本体の建設も進む予定です。また、「拝島駅前」保育園の建設も始まります。今年も引き続き有為な人材の確保と育成に努め、利用者の皆様に良質なサービスの提供に努めるとともに、地域の皆様に喜ばれる施設を目指して、一層努力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

監事就任挨拶



新監事

岩井 令雄

このたび法人の五月役員改選に伴い、新たに監事に就任しました岩井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

同胞援護会は、社会福祉事業の各分野にわたり幅広く事業を開くとともに、利用者の厚い信頼のもとに戦後からの長い伝統を培い、東京都の社会福祉の発展に寄与してきた都内有数の法人であり、そのような法人でのお役目に身の引き締まる思いであります。

監事に就任して感心したことがあります。それは、法人本部による会計や業務執行状況の内部監査であります。毎年五月から十二月までの期間、管理部門、会計経理部門、施設運営部門の三分野にわたり、四〇七人のチームで全施

設事業所を回り、本部職員と施設職員との相互協力のもとに、自らの行つた業務の点検を行っています。受ける立場にある施設側の整然と準備された書類や各簿冊の編綴内容もよく整理されており、感銘を覚えました。また、実施する本部職員の側もかなりきめ細かい内容にわたり、規程や法令等に違背していないか、齟齬がないかチェックするとともに、疑問点が生じた場合も本部に持ち帰り検討するなど、職員の問題意識も高いものがあります。現在、社会福祉法人の在り方を巡る様々な議論が出ているところですが、法人のガバナンスを高めるこのようない監査が益々重要になってきたと思われます。



私は、これまでの経験の中で施設を見学する機会は多々あり、常々思うのですが、運営状況が好きな施設ほど施設の玄関を入ったときのその空気で感じられることです。空気が濁んでいるのか、清々しい空間を感じられるのか、私のみならず利用者・家族から見れば、

事が組織立てを行われているか疑われる事でしょ。これらはそこに働く職員ひとり一人の営みが反映されるものであり、自戒の意味も込めて心しなければならないものであります。

現在、私も内部監査に同道し、月に一か所のペースで各施設の運営状況について、勉強させていただいております。これからも、法人の監査機能としての監事と法人の事業執行機能の中での内部監査がうまく噛み合、組み合わされ、法人のガバナンスを確保する仕組みの一つとして、より一層充実されることが期待されているものと思つております。

今後ともどうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

退任挨拶

昭島病院
前院長

殿塚 典彦

平成七年秋より、昭島病院の院長を務めさせて戴きました。

此の度、院長職を辞することにあたり、これまでの歴史を顧みながら、整理がつかぬまま書き綴つてみました。昭島病院との出会いは、昭和五十六年に遡り、三十余年の付き合いとなります。当初、昭和郷に於ける昭島病院の位置付けは必ずしも居心地の良いものではなく、病院の存在は疎ましく、浮いていたような気が致します。その主たる要因は、病院経営の赤字体质がもつとも大きかったのではないか。昭和郷内の信頼を得る為には、累積した借金を少しでも早く無くすことだと考えました。病院職員が、一丸となり、努力をした結果、借金生活から脱却し、老朽化した病院を今後どうすべきか、新病院建築への機運が、平成十年を過ぎたころ

同 権 だ よ り

芽生えてきました。改築の考えはもとよりなく、新病院建築に向けた資金計画も院内と本部を交えて本格化してきました。新病院の設計図の説明に喜一憂した日々が懐かしく思い出されます。第一期工事(外来・検査・三A・四Aの内科病棟)が平成十五年秋に完成し、統一して、外科・整形外科・リハビリ科の第二期工事も終わり、平成十七年1月8日に竣工致しました。(因みに1月8日は、私の誕生日もあります)。

時間が経つのは早いもので、あれから十年が経とうとしています。少子高齢化が進む中、医療制度改革に続く医療介護民営化推進、病院機能評価導入(急性期・慢性期・療養型・介護型)等々、昭島病院の今後の方針性を左右する難問、課題が山積みしている現状であります。医療に携わる我々が為すべきことは、今までも変りなく、人の身体をケアすることです。元々、手間暇のかかるものであり、効率と無駄の対極を相容れなければ成り立たないものです。昭島病院を支える職員の献身的な誠意なくして、今後の将来は、語るべくありませんが、同援の皆様には更なるご協力ご尽力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。院長職を辞するにあたり、今後も時間の許す限り、患者さんの健康な生活に少しでも貢献できればと思って

おります。惰性で経過した時間も多々思い返ますが、残された時間を大切に、「己のために、もう一踏ん張りしてみようかな」と決意を新たにしている所でございます。最後になりましたが、皆様ありがとうございます。最後になりましたが、皆様宜しくお願ひ致します。

昭島病院は昭島市の中核病院として、救急医療を含めた急性期から慢性期の間で、地域住民の医療に対する様々なニーズに対応してきました。今後も、ますます多様化すると思われる地域住民のニーズを的確にとらえ、更なる信頼を得ていかなければなりません。そのためには、病院の建物や医療・検査機器などのハード面以上に、病院で働くすべての職種の人々が力を合わせ、それぞれの能力を十分に發揮し、より良質で安全な医療を提供することが最も大切なことだと考えます。

私は、今年1月1日付けにて昭島病院院長に任命されました。

殿塚前院長のご尽力により、昭島病院はとなりのトトロに出てきてもおかしくないようなオンボロ病院から、昭島市内でもトップクラスの近代的病院に生まれ変わりました。

しかし、少子高齢化社会を迎えて、医療を取り巻く環境はより厳しく、医療保険制度は目まぐるしく変わり、さ



昭島病院
新院長

上原 淳



新 任 挨 拶



全国老人福祉施設研究会議

ニユーフジホーム介護職員

野村 武史

人見真理子

跡部 典嗣

渡邊 喬正

平成二十六年度全国老人福祉施設研究会議分散会「口腔ケアの実践」部門で、「口腔マッサージによる食事状況の改善」とのテーマで発表し、優秀賞を受賞いたしました。昨年の「チームケアで褥瘡を治す・予防する」に引き続き、二年連続での受賞に驚きと嬉しさを実感しています。

「口腔ケア」のテーマについては、受賞こそいたしませんでしたが、前々年に重曹水を用いた舌苔の除去についての発表を行っています。その後も口腔内の清掃だけでなく、口腔機能が低下し摂食が難しいご利用者様に、自らの口で安全に美味しく食べたいいただきたいとの想いから施設全体で口腔マッサージを取り入れ、行つてきました。今後も継続して取り組んでいきたいと思います。

基調講演「地域包括ケアの動向から、これから支援の質向上について考える」

日本大学文理学部社会福祉学科 教授 上之園 佳子

世界でいち早く高齢化が進むわが国では、団塊の世代が七十五歳以上となり高齢化のピークを迎える二〇二五年（平成三十七年）には、医療・介護ニーズの大幅な増加が予測されています。その十年後を見据えて、高齢者が地域で安心して生活が継続できる地域包括ケアシステムの構築が高齢者ケア政策の柱となっています。本日はその地域包括ケアの動向についてお話をするとともに、地域包括ケアシステムとはどのような理念のもと推進されているのか？なぜ地域包括ケアが必要なのか？そこでのケアや生活支援とはどのような考え方なのか？ 私なりのお話をしたいと思います。

また、地域包括ケアの考え方は高齢者分野だけにはとどまらない動きで、障害者福祉分野、児童福祉分野でも地域のなかでの包括的支援が重要となり、福祉施設や福祉サービスの役割の変革が求められています。

「二〇一五年の高齢者介護～高齢者の尊厳を支えるケアの確立に向けて～」すでに地域包括ケアシステムのこと

（二〇一四年度の当初より「可能な限り、その居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう配慮されなければならない（介護保険第二条第四項）」と居宅介護を重視し「保健医療サービスと福祉サービスを統合的に提供する（同法第三条）」の保健医療福祉の統合をめざしています。さらに、二〇〇五年法改正の方向性のもとになった二〇〇三年報告書

（1）地域包括ケアの流れ

地域包括ケアの流れは、介護保険制度の当初より「可能な限り、その居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう配慮されなければならない（介護保険第二条第四項）」と居宅介護を重視し「保健医療サービスと福祉サービスを統合的に提供する（同法第三条）」の保健医療福祉の統合をめざしています。さらに、二〇〇五年法改正の方

（2）地域包括ケアの概要

そこで、そもそも地域包括ケアとはどのようなものなのかを、考えていくた

（日常生活圏域）で適切に提供できる括ケアシステムの推進を図る趣旨の条文（第五条）が加わり、地域包括ケアシステムの法的根拠が明確にされました。そこではできる限り住み慣れた地域で、尊厳をもつて自分らしい生活を送ることができます。また、その構成要素として、「住まい」「生活支援」「介護」「医療」「予防」の五つを地域包括ケアシステムの対応すべき分野として特定しています。さらに、「二〇一四年報告書では、この五つの視点を「居住と住まい方」「医療・看護」「介護・リハビリテーション」「保健・予防」「生活支援・福祉サービス」とより詳しく内容を再整理しています。それによると、住まいは居住の形態であれの地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築を可能とすることが重要であるとされています。そのため、平成二十七年からはじまる第六期以降の介護保険事業計画を「地域包括ケア計画」と位置づけて、身近な地域でこれら

のサービスが体的に継続的に提供されるよう、各種の取組を進めていくこととなっています。

（二〇一四年度の当初より「可能な限り、その居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう配慮されなければならない（介護保険第二条第四項）」と居宅介護を重視し「保健医療サービスと福祉サービスを統合的に提供する（同法第三条）」の保健医療福祉の統合をめざしています。さらに、二〇〇五年法改正の方

（日常生活圏域）で適切に提供できる括ケアシステムの推進を図る趣旨の条文（第五条）が加わり、地域包括ケアシステムの法的根拠が明確にされました。そこではできる限り住み慣れた地域で、尊厳をもつて自分らしい生活を送ることができます。また、その構成要素として、「住まい」「生活支援」「介護」「医療」「予防」の五つを地域包括ケアシステムの対応すべき分野として特定しています。さらに、「二〇一四年報告書では、この五つの視点を「居住と住まい方」「医療・看護」「介護・リハビリテーション」「保健・予防」「生活支援・福祉サービス」とより詳しく内容を再整理しています。それによると、住まいは居住の形態であれの地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築を可能とすることが重要であるとされています。そのため、平成二十七年からはじまる第六期以降の介護保険事業計画を「地域包括ケア計画」と位置づけて、身近な地域でこれら

のサービスが体的に継続的に提供されるよう、各種の取組を進めていくこととなっています。

（二〇一四年度の当初より「可能な限り、その居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう配慮されなければならない（介護保険第二条第四項）」と居宅介護を重視し「保健医療サービスと福祉サービスを統合的に提供する（同法第三条）」の保健医療福祉の統合をめざしています。さらに、二〇〇五年法改正の方

（日常生活圏域）で適切に提供できる括ケアシステムの推進を図る趣旨の条文（第五条）が加わり、地域包括ケアシステムの法的根拠が明確にされました。そこではできる限り住み慣れた地域で、尊厳をもつて自分らしい生活を送ることができます。また、その構成要素として、「住まい」「生活支援」「介護」「医療」「予防」の五つを地域包括ケアシステムの対応すべき分野として特定しています。さらに、「二〇一四年報告書では、この五つの視点を「居住と住まい方」「医療・看護」「介護・リハビリテーション」「保健・予防」「生活支援・福祉サービス」とより詳しく内容を再整理しています。それによると、住まいは居住の形態であれの地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築を可能とすることが重要であるとされています。そのため、平成二十七年からはじまる第六期以降の介護保険事業計画を「地域包括ケア計画」と位置づけて、身近な地域でこれら

家族や身近な人、友人や近隣の人たち等の間での支え合い、また住民主体のサービスやボランティア活動（互助）、自らの選択によって自分らしい生活を自ら支えるセルフケアの取組み（自助）等多くの資源が存在するとし、それぞれの地域が持つ「自助、互助、共助、公助」の役割分担を踏まえながら、有機的に連動して提供されるようなシステム構築がもとめられています。

[2] 地域包括ケアとは（めざすもの）

では、なぜ地域包括ケアが必要なのかを、社会保障制度と地域でケアの必要な人にとっての二つの観点から考えてみましょう。社会保障制度改革国民会議とその後の「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律（平成二十五年十一月十三日法律第百十二号）」によると、医療・介護サービスの提供体制では病院完結型から地域完結型の医療制度改革と地域での受け皿としての地域包括ケアシステムの推進としています。高齢化により疾病構造の変化で医療だけでなく生活支援を必要とする長期ケアのニーズが増加することを踏まえ、医療・介護費用の適正化が課題となっています。それと同時に高齢者の生活の質（QOL）の維持・向上を目標とする住み慣れた地域で人生の継続ができるよう地

域の生活のなかで必要なケアを確保できる仕組みをつくることが言及されています。地域包括ケアの考え方は、利用者の状態に応じて施設を転々としなければならないような「人がケアにあわせるしくみ」から、ライフステージや心身の状態が変化しても、住み慣れた地域内での様々なサービスや社会資源を組み合わせ、人生や生活の継続ができる「ケアやご近所等のこれまでの生活で培われた顔の見える人間関係（絆）を保つこと」は生活の質（QOL）を保つことになります。それは、これまでの生活環境や人間関係が本人をケアする社会資源となり、それらが「ケアの地域化」とも言えます。また、主体的に生活を継続していく基盤となる場所（人との人間関係）とライフステージに応じた適切なケアを得ることができ（Aging in Place）、そのケアは自律を尊重し本人の自らしさを中心としたケア（Person-centred care）としては地域で確保できるためには多様なケアが存在し、そのなかから主体的に選べる「ケアの包括化」が要件となります。

[3] 地域包括ケアの課題と福祉サービスのあり方

これまでには介護が必要となつた時に、住み慣れた地域や自宅での生活を望んでいるけれど充分なケアを受けるためには介護施設しかない、家族に介護の負担をかけたく無いからと、ケアを受けるために介護保険施設に「生活の場」を移さなければならない。施設ケアか在宅ケアのどちらかを選ばなければならぬという二択の現状があります。

地域包括ケアの考え方の必要性について考えるとき、住み慣れた地域で生活習慣やライフスタイルの継続ができ、家族やご近所等のこれまでの生活で培われた顔の見える人間関係（絆）を保つこと

ます。それは、これまでの生活環境や人間関係が本人をケアする社会資源となり、それらが「ケアの地域化」とも言えます。また、主体的に生活を継続していく基盤となる場所（人との人間関係）とライフステージに応じた適切なケアを得ることができ（Aging in Place）、そのケアは自律を尊重し本人の自らしさを中心としたケア（Person-centred care）としては地域で確保できるためには多様なケアが存在し、そのなかから主体的に選べる「ケアの包括化」が要件となります。

これまでには介護が必要となつた時に、住み慣れた地域や自宅での生活を望んでいるけれど充分なケアを受けるためには介護施設しかない、家族に介護の負担をかけたく無いからと、ケアを受けるために介護保険施設に「生活の場」を移さなければならない。施設ケアか在宅ケアのどちらかを選ばなければならぬという二択の現状があります。

地域包括ケアは、医療介護サービスや生活支援、介護予防や健康づくりなど広い視点で地域づくりにまで拡大しています。そのためには地域住民や社会的合意がなければ実現しないという課題があります。また、政府主導の地域包括ケアの動向のなかで、政策としてのシステムの構築にばかり関心がいく傾向にあります。また、地域包括ケアの政策理念を実際の施策や実践に移行するときには、財源の課題などにより政策



「福祉サービス研究発表会」の意義

研修委員会 委員長 鎌田 弘道

「福祉サービス研究発表会」は、以前、当法人の職員を対象とした処遇向上の「処遇問題研究発表会」として毎年開催しておりました。

しかし、介護保険制度の導入を機会に福祉全般のサービスの質の向上、職員の資質向上が求められるようになりました。そして地域社会に向けた新しい福祉サービスの情報発信をするため、研究期間を二年とし、本年で第五回目、通算十年を迎える現在の研究発表形式へと進化しました。今回の研究発表会の会場は、交通の利便性などを考慮して、西国分寺駅前の国分寺市立いづみホールに変更し、「二百十八名と多くの皆様にご来場いただきました。またアンケートでは多くの方から様々な意見をいただきました。ご協力に感謝するとともに、次回の研究発表会へ活かしたいと存じます。

● 目的・趣旨
この研究発表会は、普段提供しているサービスの根拠と成果を検証す

管理のもとに取り組んだ成果あります。

● 今後の課題

今回も多くの皆様にご来場いたしましたが、より多くの方にご来場いただけるよう来場者確保のピール方法を再検討することが大きな課題です。例えば、東京都や社会福祉協議会等に協賛いただくことも必要ではないでしょうか。

基調講演では「地域包括ケアの動向から、これからの支援の質向上について考える」と題し日本大学文理学部社会福祉学科の上之園佳子教授にご講演いただき、施設からの発表としては以下の通り行いました。

「障害者支援系グループ」
発表.. 小茂根福祉園
「企業との連携による清掃作業の有用性を探る」～小茂根福祉園の場合～

「高齢者支援系グループ」
発表.. ニューフジホーム
「チームケアで褥瘡を治す・予防する」～栄養ケアと創部処置、シーティングの摸索～

「児童女性支援系グループ」
発表.. 双葉園
「児童養護施設における性(生)教育の取り組み」～相互尊重を中心～

● 最後に
研究発表を通して仕事に対する職員ひとりひとりのモチベーションアップにつながることを期待しております。





診療技術部と健康ブーム

昭島病院
診療技術部長

関口 善立

当院の診療技術部は放射線科(診

療放射線技師六名)、検査科(臨床検査技師四名)、歯科(歯科技工士三名、歯科衛生士二名)の合計十三名、三部門から構成され、それぞれが専門分野を担当しています。

現代では、食事やストレスなどの影響で、糖尿病・高血圧症・メタボリックシンドロームなど、生活習慣病の人が増えているといわれます。

そのためか、最近は健康が話題になつていて、TV番組が多くみられます。「健康でありたい」という希望は誰しもが持ついますが、日頃はあまり考えず意外と人は不健康な生活を送っているのではないか?とTVを観て考えたりしていませんか?

そこで、健康ブームの中、当院で行つてある検査でマスメディアに注目されている検査を取り上げてみました。

〔放射線科→骨、元気ですか!〕

骨年齢への関心が高まる中、骨密度、骨粗鬆症に関しての問い合わせが

多くなっています。ご承知の通り、骨折予防として骨折を起こす前の段階で骨密度(骨の強さ)を評価し対

策を講ずることが必要とされています。骨量測定の中でも、特に、腰椎と大腿骨近位部(大腿骨頸部)を測定するDEXA(デキサ)は、現在最も信頼されている測定法とされています。当院も最新の骨密度測定装置が導入されました。寝台に十分間程横になつている間に検査は終了します。

骨粗鬆症の早期発見にも役立つています。寝たきりにならないために、骨密度を測定して、骨強度の低下を予防しましよう。

それには、バランスの良い食事と適度な運動が良いとされています。

〔検査科→胃にいる菌って何?〕

最近よく聞かれるようになった「血管年齢」とは血管の老化度、つまり動脈硬化がどれだけ進んでいるかを表わすものです。

血管年齢を測るABG検査とは:・

を測る時のカフを巻き一回ほど血圧を測定することで検査が出来ます。肌を美しく保つために毎日のスキンケアが欠かせないように、血管を若くしなやかに保つためには、毎日の正しい生活習慣が大切だと言われています。あなたの血管は、年齢相応の若さを保つているのでしょうか?

多くなっています。ご承知の通り、骨折予防として骨折を起こす前の段階で骨密度(骨の強さ)を評価し対策を講ずることが必要とされています。骨量測定の中でも、特に、腰椎と大腿骨近位部(大腿骨頸部)を測定するDEXA(デキサ)は、現在最も信頼されている測定法とされています。当院も最新の骨密度測定装置が導入されました。寝台に十分間程横になつている間に検査は終了します。

骨粗鬆症の早期発見にも役立つています。寝たきりにならないために、骨密度を測定して、骨強度の低下を予防しましよう。

それには、バランスの良い食事と適度な運動が良いとされています。

〔検査科→胃にいる菌って何?〕

ピロリ菌(正式には、ヘリコバクター・ピロリ)です。尿素呼気試験を行い、胃にピロリ菌が感染しているかを検査することができます。呼気を採取し、検査薬を飲み再び、二十分後の呼気を採取して検査をします。ピロリ菌に感染したからといって潰瘍や胃癌が必ず発症するわけではありませんが、最近の研究では、ピロリ菌の除菌治療により胃癌になる危険性が低下するとの報告もあります。

口の除菌治療により胃癌になる危険性が低下するとの報告もあります。

口の除菌治療により胃癌になる危険性が低下するとの報告もあります。

〔歯科→8020(ハチマル)イマール〕

運動って知っていますか?」

生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わえるように」「八十歳になつても二十本以上自分の歯を保とう」という運動です。歯は感度のいいセンサーであり、脳と直結している重要な出発点だそうですね。ところが多くの方が、歯がそろはどこ重要な役割を果たしている事に気付かず、歯が抜けても「もう年だから、歯も抜けてきちやうよ」とおつ

しゃるのですが、老化と共に歯が抜けようのは、大きな誤解なのです。そして、歯が抜けてしまつたら食事ができなくなってしまいます。ではどうすれば年をとつても、自分の歯で食べ事が出来るのでしょうか。それには、早期治療と歯周病予防が大切です。

歯周病予防は、正しい歯磨きを行なうことが大切です。正しい歯磨きを歯科スタッフが丁寧に指導して歯周病の予防に力を入れています。

放射線科ではお年寄りやお身体の不自由な方でも車椅子のままでの、歯のレントゲン撮影が出来る装置を完備しています。

以上が当院で行うことの出来る話題の検査です。

これを読んで頂いた方で、検査ご希望の方は、医師にご相談下さい。

診療技術部では、「自立できる老後を送ることが、本当の意味での健康であり幸せである」との考え方賛同して、健康に関心をお持ちの方々に少しでもお役に立てます様、診療技術

部スタッフ全員が、医療技術の向上に励み、患者さんの第二の処方箋といわれる接遇に關しても、「思いやりの心」で接する様、日々努力しております。これを機に、世の健康ブームに乗つて、ご自分の身体のメンテナンスを行つてみませんか?

私の夢

昭島莊

笑顔は何もいらない。お金一銭もかからなくて即作ることができる最高の武器 笑顔に接して皆さんはうれしく楽しく幸福な気持ちになることができます。

私は一日朝晩午前午後一しゅん笑顔を作ることを忘れないよう努力していきたいと思います。笑顔にあつて悪い気持ちになる人は一人もいません。笑顔こそ何者にもまさる宝です。

皆さんが笑顔を作つて、あの友この友と手と手を取りあつて仲良くしていきたいのです。

七十四歳になつて目標はあります
せん。

私も、はや昭島荘にきて十四年になりました。

な所でしたけど、住めば都と言われるよう本当に住みやすくなりました。今の私の夢としては昔のようなわけにはいかないけれど出来たらもう一度山に行き登つてみたいです。

昔は山登りをしては頭をひねりながら俳句を作つてみたりしました。有名な人の歌碑をみて歩くのが好きでした。

岩手県に行つたり山形県に行つたりまたは長野県に行き松本城を見に行きその時に詠んだ句がありました。

また会社の旅行で四国香川県とか淡路島とかいって句を詠んだりしてすごく楽しかったです。今では足も悪くなりあまり遠くには行けないけど、リハビリしながら頭をひねつて句を読んだりします。私にとってはボケ防止の一つとしてまた楽しみの一つとして句会に参加したりしています。

でも、もう一度山の方に行つて景色を見たりしてのんびり俳句を詠むのが私の夢です。

岩手県に行つたり山形県に行つたりまたは長野県に行き松本城を見に行きその時に詠んだ句がありました。

また会社の旅行で四国香川県とか淡路島とかいって句を詠んだりしてすごく楽しかったです。今では足も悪くなりあまり遠くには行けないけど、リハビリしながら頭をひねつて句を読んだりします。私にとつてはボケ防止の一つとしてまた楽しみの一つとして句会に参加したりしています。

でも、もう一度山の方に行つて
景色を見たりしてのんびり俳句を
詠むのが私の夢です。

(神
きぬゑ)

く生きていく。真心は真珠より美しい。このような性格だつたのが学校の先生から私に送られた言葉だつたので忘れないでいたいと思います。反省している点が沢山あります。ですが、もういちど性格を直していくにたらいなど感じる今日この頃です。

昼間は作業をさせていただいているので、なかなか進みませんが趣味として今は大好きなパズルをやつていまして何枚か作ったのですが五百ピースのパズルと球体パズルがとつても頭をつかいました。でも、出来上がったときの感動はヤツター！と思う気持ちで嬉しくてたまりません。さあ、次はスカイツリーの立体パズルなので出来るかな。頑張りまーす。

五十代の最後の締めくくりです。後は何に挑戦出来るか考えている次第であります。

ケースワーカーの方に購入して頂いてベッドそばの小灯台に乗せて勉強していました。昭島荘にお世話になつてからは、一生懸命に働いて時代の流れによつてパソコンを購入した次第であります。ボケ防止には最高です。

毎年行つている昭島寄席「新春初笑い」の券を購入しました。年の初めから腹から笑つて過ごせたら素晴らしい一年になります。落語を聴いていると自分がその話の中に入つてしまつて一時でも笑いの世界に入れるので幸せです。今から楽しみにしてます。それまで一生懸命働きますのでお許しを!

K
•
A



わたしの夢

サンライズ武藏野

■高校三年生 T.A

めたが、僕にとつてそれは人生を諦める事と同じであった。

そんな現実と夢の板挟みの中、支援の力を借りての施設に入る事ができた。朝早い時や遅い時、施設の方々にも協力してもらい三年間卓球部を続ける事ができた。個

中二の時であった。

僕は一つの夢を持った。

強いチームの中で一緒に練習したい！

中学の部活は普通の卓球部で、あつたが、卓球が強くなりたい、ただその一心で都内有数の卓球の強豪校を受験した。両親の協力もあり合格し、念願の卓球部へと入部を果たした。やはり、実際に入部してみると僕の技術は同期の他のメンバーより明らかに劣つておらず、顧問の先生には叱られ続ける毎日であった。

しかしそんな夢が叶つた高校一年生の冬、僕の父は肺がんで亡くなつた。突然発覚してからわずか三ヶ月後のことであった。大黒柱の死が我が家にもたらした影響は多大なるものであつた。親戚は学費を心配して都立高校への転入を勧



キング牧師のI Have a Dreamという演説の中での一節に出会つた。

キング牧師のI Have a Dreamという演説の中での一節に出会つた。



現代社会はより諸外国との問題が複雑化している。そのため国際的コミュニケーションについて異文化理解・適応などが勉強できる大学へと進学し、政治、歴史、人種、宗教など広い視野を持ち研究したいと考えている。将来的にはグローバルに活躍できる職業に就くつもりだ。そのため、学校の選択授業では、第二外国語であるドイツ語を勉強する事で英語以外の外国語に触れる機会を増やし、自分の中の可能性をより拡大しようと努力している。選択授業内では文法などの勉強に加え、会話などのコミュニケーションも重点的に勉強する事で将来の夢に一步でも近づこうとしている。また、授業で受けたキング牧師のスピーチに感動し、僕自身も物事を的確に伝えるための言語力を習得したいと思い、色々な人の演説を毎日聞くようにしている。

So even though we face the difficulties of today and tomorrow, I still have a dream.

—私達は今日の、そして明日の困難に直面していますが、それでもまだ私には夢があります。—

人的な目標であったシード権を二回獲得し、チームの中で自分の役割を十分果たせたと思う。このよううに、充実した高校生活を送れた事についてはとても感謝している。

現役を退いた今、僕は次の夢を持つている。

キング牧師のどんな困難の中にいても自分の夢を諦めない姿を見て、僕も自分の夢を諦めたくないと思った。

僕の様な境遇になつた人達にこのことを伝えたい。だから僕も次の夢に向かつて努力して行きたいと考えている。

キング牧師のどんな困難の中にいても自分の夢を諦めない姿を見て、僕も自分の夢を諦めたくないと思った。

僕の様な境遇になつた人達にこのことを伝えたい。だから僕も次の夢に向かつて努力して行きたいと考えている。

わたしの夢

むさしの保育園

パン屋さんになって、美味しいパンを作りたい。

(やまうら あいか)

お花屋さんになって、沢山お花を売
りたい。

(のむら まお)

お料理の名人になつて、みんなに
作つてあげたい。

(たかはし りお)

探險家になつて、ジヤングルでヘ
ラクレス大かぶとを捕まえたい。

(きのした たくみ)

警察官になつて、色々な人を助けたい。

(さとう そら)

折り紙博士になつて、みんなに折
り紙を教えてあげたい。

(なかむら たけよし)

ジヤムおじさんみたいなパン屋さ
んになつて、アンパンマンを作り
たい。

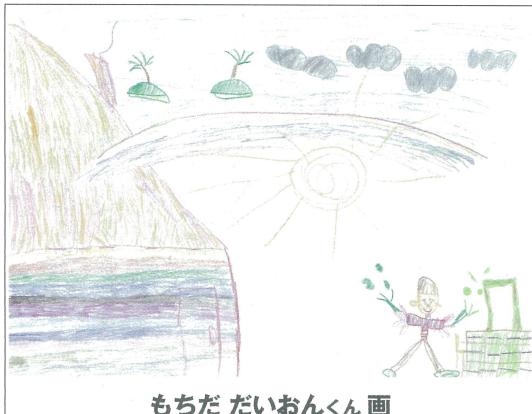
(なら ひかり)

警察官になつて、悪い人を沢山捕
まえたい。

(いとう はるき)

サッカー選手になつて、5試合連
続ゴールしたい。

(ひがし りょうへい)



もちだ だいおんくん画

紙で何かを作る名人になりたい。

(こうさか ゆきのしん)

絵描きになつて、かつこいい人に
なりたい。

(もちだ だいおん)

サッカー選手になつて、日本代表
になりたい。

(つかこし こうた)

素敵なお嫁さんになりたい。

(いしい ことこ)

大工さんになつて、色々な家を建
てたい。

(おおむら しんご)

パン屋さんになつて、美味しいパ
ンを売りたい。

(こみや さき)

お花屋さんになつて、沢山お花を
育てたい。

(なかざわ ほのか)

バレリーナになつて、有名になりたい。

(しらいし ふあ)

サッカー選手になつて、日本代表
に出て全試合ゴールしたい。

(ほりき ようへい)

野球選手になつて、優勝したい。

(やひろ むぎた)

宇宙に行つて、地球を見たい。

(うんの まさき)



よしだ ひろきくん画

絵描きになつて、かつこいい人に
なりたい。

(もちだ だいおん)

ロケットに乗つて宇宙に行つて、
衛星を見てその中にいきたい。

(すどう よういち)

紙で何かを作る名人になりたい。

(こうさか ゆきのしん)

口ケットに乗つて宇宙を回りたい。

(よしだ ひろき)

お金持ちになりたい。

(なかむら しょうたろう)

大きなお家に住みたい。

(ほり ちひろ)

サッカー選手になつて、日本代表
になつて金メダルを取りたい。

(よしだ れん)

サッカー選手になつて、日本代表
になつて金メダルを取りたい。

(よしだ れん)

サッカー選手になつて、日本代表
になつて金メダルを取りたい。

(よしだ れん)

私 の 夢

東村山生活実習所

元気で過ごしたい。

(中橋 幸子)

絵を描く仕事をつきたい。

(福田 茗果)

カラオケにいきたい。

(松本 陽子)

元気に過ごしたい。

(三代川信次)

一人暮らしをしたい。

(野見山湧貴)

家族とずっと過ごしたい。

(宮村 勇)

一人でどこかにでかけたい。
お給料がたくさんほしい。

(石井 慶子)

企業へ就職したい。嵐のコンサー
トへいきたい。

(増田有里子)

将来、お嫁さんになりたい。
嵐のコンサートへいきたい。

(和地 真季)

阪神が優勝するように。彼氏がほ
しい。

(大本 順子)



ボランティアの紹介

さいわい福祉センターでは、月に一回ボランティアをしていただいている大部員子（おおぶ かずこ）さんの紹介をいたします。大部さんは茶道以外にも登山や着付けを習うなど、動と静を織り交ぜた多様な趣味をお持ちの方です。

大部さんは平成十二年からさいわい福祉センターで茶道のボランティアとして活躍していただいています。現在は退職していらっしゃいますが、当時は市内中学校の特別支援学級にお勤めしていました。その傍ら、特技を生かすことができたらと、ご自身からボランティアを志願して下さりました。そのまま約十五年もの間、当センターで利用者の方々に茶道を教えて下さっています。時にはかつての教え子との再会で、会話を花を咲かせていることもあります。

茶道を習っているのは、主に就労移行支援事業を利用している方々です。作法を学ぶことは、就職に必要なルールやマナーを学ぶことに繋がります。またそれらを学ぶだけではなく、皆さんにはゆっくりと流れる時間とお茶菓子、お茶をとても楽しみにしています。



毎年一月の新年会では、就労移行支援事業の利用者が職員や他のグループの利用者のみんなにお茶を振舞い、大部さんに教えていただいた茶道の成果を披露しています。

(関口 記)

ると、「とにかく皆さんがお茶を好きになってくれて、雰囲気を楽しんでくれていることが嬉しい」との事でした。皆さん好奇心が強く、学ぼうとする気持ちが強いことも印象的との事です。

また、逆にボランティアをしていて大変に感じる事も尋ねてみたのですが、「全くない。好きで、楽しんでやっているから。」とのことでした。大変ありがたいお言葉とともに、だからこんなにも長く続けて下さっているのだなとも感じました。

毎年一月の新年会では、就労移行支援事業の利用者が職員や他のグループの利用者のみんなにお茶を振舞い、大部さんに教えていただいた茶道の成果を披露しています。

(関口 記)

ボランティアの声

いこいの家

音楽ボランティア 上野 万里

「今日は何の曲をリクエストしようかな?」

ミュージッククラブの会場の食堂に集まってきた利用者の皆さんが歌詞カードを見ながら笑顔で雑談をされる和やかな雰囲気の中、「みなさんこんにちは!」と始まります。

私は二〇二二年より一ヶ月に一回いこの家で音楽活動のボランティアをさせていただくようになり三年七か月になります。以前は音楽教室で小さい子どもたちに音楽を教えたり、自宅でピアノを教えたりしていましたが、五十才を過ぎてもっと世の中の困っている人の役に立ただき喜んで引き受けました。

ミュージッククラブの内容は、はじめは簡単に発声をして季節の歌を歌い、二百曲近い曲の中からひとりずつリクエストしていただきて、歌詞カードを見ながらCDやピアノ伴奏に合わせて順番に歌います。曲は演歌もJポップもありいろ



いますが、時にはAKBやももクロなど振りつけをしながら歌つたり(すぐ上手な方がいらっしゃつていつも教えていただきます)、手拍子をしたりとても楽しいです。また歌うだけでなく、その曲について知つてることを話したり、利用者さん同士で順番を譲りあつたり、歌詞カードのページを教えあつたりいろいろと協力して盛り上げていただいています。

施設に来られたばかりの方は、はじめはうつむきかげんですが、毎回少しづつ顔が上向きになり声も大きくなり、徐々に目を見て笑顔でお話ができるようになられ、心も回復していらっしゃる様子に接することができるのも本当にうれしいです。

月に一度のミュージッククラブは、私自身も皆さんにお会いできるのをとても楽しみにしていますが、利用者の皆さんに少しの間だけでも楽しい時間を過ごしていくだけでも楽しい時間を作りました。

「脳いきクラブ」では個人のレベルに合わせて「読み・書き・計算」の教材を用意し解いていくことにより前頭前野が刺激され認知症の予防、改善を促すというもので、週に一度十五名ほどで活動しています。勉強が終わると Baba抜きや百人一首を使った坊主めぐりなど参加者全員で行うことにより自然と会話が広がり笑顔が多くみられ、利用者の方同士で会話する姿も

ゆたか苑

ボランティア 田邊 有里

私はゆたか苑で「脳いきクラブ」のボランティアをさせていただいています。

元々、大学三年時の実習でお世話になり、それまで高齢者の方や認知症の方と関わったことのなかつた私にとって、最初のほうは、何を話せばよいのか分からず戸惑う毎日でした。しかし、あいさつや少しずつ話しかけるようにしていくことで一人一人の性格や趣味といったことが分かるようになり、いつの間にか苦手意識は無くなり利用者の方との会話が楽しみになりました。利用者の方と関わっていきました。利用者の方と関わりしていくうちにもつと高齢者の方や認知症の方について学びたいと思ったことがきっかけでボランティアさせていただきました。



多く拝見できます。何か作業をしながら会話するということは普通の日常のように感じますが、とても大切な時間なのだとこの活動を通じ学びました。

また、実際に利用者の方と関わる機会というのは学校の授業では学ぶことができない多くのことを発見することができます。人生の先輩である利用者の方と接することで人としても学ばせて頂いています。ボランティアのおかげで困っているお年寄りの方へ自分から話しかけることができるようになり地域の高齢者の方との交流も増えました。私のように高齢者の方にどう接して良いかわからない人に伝えていきたいと思います。

原町ホームの超高齢社会へ向けた新しい社会貢献 認知症カフェ事業「カフェメモリイ原町」

原町ホーム
園長 佐々木 末廣

【求められる地域交流】

我国の二〇一二年時点での認知症患者数は四六二万人に上り（厚労省発表）、軽度認知障害の高齢者推計を合わせるとその数は八〇〇万人といわれています。超高齢社会における認知症高齢者への支援、特に施設入所だけではない在宅生活のサポートが不可欠な社会的状況となっています。

地域での生活を支えるシステム作りが喫緊の課題となつております。原町ホームではこの現状に対応すべく認知症カフェ事業に着目しました。

認知症カフェとは、認知症の人とその家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき、集う場であり、これが普及することによって認知症の本人やその家族等に対する支援が推進されることが期待されています。（厚労省平成二十四年「認知症施策五か年計画（オレンジプラン））

原町ホームではオレンジプランが策定される以前、平成十六年から逆デ

イサービスとして「地域ほほえみ交流事業」の活動を行つてきました。地元住民の方と原町ホーム入居者が地域の団地集会室に集い、活動に参加し交流できる場を創造してきました。平成二十五年度からは、新設された原町高齢者複合施設の地域交流スペースに場所を移し、原町グループホーム、小規模多機能居宅介護センターのご利用者も新たに活動に加わりました。

原町ホームの地域交流事業はその活動形態や内容の特色は認知症カフェに近いものがあり、今般新宿区と協働しながら「地域安心カフェ・カフェメモリイ原町」として実現するに至りました。

【カフェメモリイ原町】

地域で暮らす高齢の方は、独居生活や高齢者のみの世帯となつていても多くの、特に都心では地域とのつながりが希薄になる傾向にあります。カフェメモリイ原町の目的は、まずそ

ういった方々の「居場所」となり、地域でのつながりを実感できる場となることです。そして、認知症の方や介護をしている家族は、たとえ認知症を患つても住み慣れた地域での生活を続けたいと思いながら、しかしそのためにどう行動すればよいのか悩んでいることが少なくありません。カフェの運営に多様な専門職が関わることで、気軽に相談ができるだけでなく、専門機関への適切な紹介につながるための窓口となることもこの活動の大きな役割です。このように、カフェメモリイ原町は超高齢社会が抱える時代の課題に対してもこの端を担う社会資源となることを目指しています。

地域に開かれた空間で参加者同士がお互いにつながりを感じ、安心して生活を続けることができる地域社会のネットワークを創造する、原町ホーム、原町高齢者複合施設、榎町地域包括支援センターの新しいチャレンジとして、地域を支え、今後の「認知症ケアパス」の一端を担う社会資源となることをご期待ください。

【活動内容】

- ①第一火曜日：リハビリ体操。地域の方を対象として、理学療法士の指導のもと体調に合わせた体操を行います。
 - ②第五木曜日（原則）：ブンネコンサート。ブンネ楽器を用い参加型のコンサートを行います。
 - ③毎週木曜日：華道・書道・手芸・リハビリ体操を週替わりで行います。
- ②③は地域住民、原町高齢者施設の方が一緒に参加します。

どの活動でも、出張相談として榎町



平成二十六年度全国老人福祉施設大会 仙台大会に参加して

フジホーム

副園長 小金沢康哲

平成二十六年十月二十八日から三十日に宮城県仙台市にて開催された第七十一回全国老人福祉施設大会に参加しました。今回は、地域のために打つ手を尽くす、地域に根ざし、地域とともに歩む社会福祉法人～というテーマであり、開会宣言から、社会福祉法人が地域に対し、どのような「在り方」を示していくかなければならないかという、昨今の社会福祉法人批判を主軸として、その存在意義が危ぶまれているという憂慮から始まりました。

【基調報告】

全国老施協 村上副会長より社会福祉法人への課税問題は、地域包括ケアシステムの実現に向け大きな足枷になること、今求められる使命、国や地域からの要望に対応して、地域に根ざした社会福祉法人だからこそできる改革が必要なのではないかとの報告がありました。

行政報告では、厚労省大臣官房審議官より、①互助に力を入れていい地域包括ケアシステムの構築・②

のために求めたい地域に根ざしたワンストップの連携体制窓口・③認知症施策の推進・④地域ケア会議の推進・⑤特別養護老人ホームの重点化・⑥介護人材の確保の必要性が報告されました。

有識者によるシンポジウムでは、実践報告を交えながら、地域貢献の方向性が確認されました。

【分科会 介護人材の確保について】

二〇一五年に七十五歳以上の高齢人口は全人口の十八%を占めるという最大のピークを迎え、現在、介護職に従事している介護職員が約六〇万人、二〇二五年までにあと一〇〇万人が必要とされています。分科会では、介護人材確保について、参入促進、資質の向上、労働環境・処遇改善など、「全体的な視点をまとめた十一の方向性」が説明されました。肝心なのは量だけでなく質も同時に求めていくという観点でした。

【介護福祉士の役割】

介護業務に対するイメージは3Kのイメージが未だ払拭されておりました。

ません。しかし、現職の介護従事者にとったアンケートでは、介護を選んだ理由が「やりがい」など意欲的な回答が多く見受けられ、その逆に離回答が多いです。

理由については、「結婚や出産などライフイベントが三割で、事業所の理念や人間関係はそのあと」と報告がありました。介護職は「やりがい」のある職種であり、外部のイメージとは別に3Kを理由として離職する職員は実は少ないのです。

分科会の中で、「人材確保の持続可能性における量・質的確保の好循環三位一体の取り組み」についてとても興味を惹かれました。「人材確保の困難を憂う」という受け身ではなく、積極的に育成していくことで、魅力的な環境や社会的地位を向上させていく努力を一事業所ごとに行うべきだ」ということでした。制度に守られた受け身的な業界は、人材の低下や人材そのものが減少していくそうです。従事者が「使われる立場」や「消耗的労働者」という受動的な体質となり本来、追い求めるべき使命やその魅力を喪失してしまうからとのことです。

未経験や無資格で入職する新人職員が多くなってきた中、求められている使命を諭し、多職種協働で育成し、課題を解決する能力を養うこと、成功体験を導きや達成感を味わい、やりがいのある職種として魅力ある職場づくりが出来るのではないかでしょうか?それは、結果的に離職を防ぐ職場づくりになると想えます。

地域包括ケアシステムの中で特別養護老人ホームの出来ることは何か?地域包括ケアシステムにある「認知症施策の推進」は在宅の高齢者を対象としていますが、推進していくためには、専門的な多職種協働のチームが必要とされています。介護人材が不足している今、私たちが、その人材を育成していくことも施設の役割と考えます。

資 格 取 得 の 紹 介

ご 寄 付

後 援 会



【社会福祉士】 【精神保健福祉士】	双葉園 自立支援コーディネーター 高木 千乃	林一江◇高橋暢子◇戸塚洋子◇ 森谷順藏◇山内悦◇(社福)村 山苑 職員有志一同 代表 杉 介護支援専門員	内田祥二◇大野武夫◇小野澤 知治◇笠置ひさの◇川鍋實◇小 河原弘司◇斎藤 成子◇佐々木みつる◇下坪唱三◇ 新谷正宏◇千修館 海野昌伸◇高 木基代乃◇高仲智子◇土屋勝◇中 山孝子◇広田規子◇藤井典生◇本 田ふき子◇南雲栄一◇森川喜久男 ◇山内悦◇(社福)村山苑 理事長 品川卓正◇NPO法人日本幼児 健康体育協会 代表 池田意都子 ◇昭島ガス株 代表取締役社長 平畑文興◇浦野工業株 浦野静夫 ◇エーワンシード株◇エコア株◇大山町 会 会長 松野榮仁◇おしゃれの 店ひらまつ◇おしゃれ洋品ウエノヤ ◇加寿谷不動産株 畠谷敏夫◇風 間造園株 代表取締役 町田哲男 ◇クリエーティブカミヤ株◇桑都ビ ル管理株◇広域地域ケアセンター バオバフ◇昭和の森エリアサービス株 スマイルケア昭和の森◇田所青果株 代表取締役 田所金治◇東京中 央食品株◇東京冷機工業株◇戸山 商事株◇長崎二丁目町会 会長
畜産(株)◇(有)海老山	後藤 正和 繩田 晃一 福島 洋一 山田 卓磨 小茂根福祉園 生活支援員片岡 和人 相談員 加賀美俊介	大芝登◇都 營中神第二団地自治会 会長 山田恒男◇富士見ヶ丘団地自 治会 会長 降矢新吉◇昭島サ ンセルフ 高野裕志◇橋本工務 店 橋本誠一◇マツダドライサー ビス◇水村肉店◇昭島ガス株 代表取締役社長 平畑文興◇ 日清医療食品株東京支店 支 店長 渡辺修◇ネオ・ハルト株 代表取締役 南浩一◇扶桑建設 (株) 代表取締役 星野宗保◇ 小池護◇(株)三ツ矢 代表取締 役 中村暢克◇(株)和光電気 代表取締役 本多康利◇中野	四プロック 顧問 大芝登◇都 營中神第二団地自治会 会長 山田恒男◇富士見ヶ丘団地自 治会 会長 降矢新吉◇昭島サ ンセルフ 高野裕志◇橋本工務 店 橋本誠一◇マツダドライサー ビス◇水村肉店◇昭島ガス株 代表取締役社長 平畑文興◇ 日清医療食品株東京支店 支 店長 渡辺修◇ネオ・ハルト株 代表取締役 南浩一◇扶桑建設 (株) 代表取締役 星野宗保◇ 小池護◇(株)三ツ矢 代表取締 役 中村暢克◇(株)和光電気 代表取締役 本多康利◇中野
畜産(株)◇(有)海老山	後藤 正和 繩田 晃一 福島 洋一 山田 卓磨 小茂根福祉園 生活支援員片岡 和人 相談員 加賀美俊介	大芝登◇都 營中神第二団地自治会 会長 山田恒男◇富士見ヶ丘団地自 治会 会長 降矢新吉◇昭島サ ンセルフ 高野裕志◇橋本工務 店 橋本誠一◇マツダドライサー ビス◇水村肉店◇昭島ガス株 代表取締役社長 平畑文興◇ 日清医療食品株東京支店 支 店長 渡辺修◇ネオ・ハルト株 代表取締役 南浩一◇扶桑建設 (株) 代表取締役 星野宗保◇ 小池護◇(株)三ツ矢 代表取締 役 中村暢克◇(株)和光電気 代表取締役 本多康利◇中野	四プロック 顧問 大芝登◇都 營中神第二団地自治会 会長 山田恒男◇富士見ヶ丘団地自 治会 会長 降矢新吉◇昭島サ ンセルフ 高野裕志◇橋本工務 店 橋本誠一◇マツダドライサー ビス◇水村肉店◇昭島ガス株 代表取締役社長 平畑文興◇ 日清医療食品株東京支店 支 店長 渡辺修◇ネオ・ハルト株 代表取締役 南浩一◇扶桑建設 (株) 代表取締役 星野宗保◇ 小池護◇(株)三ツ矢 代表取締 役 中村暢克◇(株)和光電気 代表取締役 本多康利◇中野
畜産(株)◇(有)海老山	後藤 正和 繩田 晃一 福島 洋一 山田 卓磨 小茂根福祉園 生活支援員片岡 和人 相談員 加賀美俊介	大芝登◇都 營中神第二団地自治会 会長 山田恒男◇富士見ヶ丘団地自 治会 会長 降矢新吉◇昭島サ ンセルフ 高野裕志◇橋本工務 店 橋本誠一◇マツダドライサー ビス◇水村肉店◇昭島ガス株 代表取締役社長 平畑文興◇ 日清医療食品株東京支店 支 店長 渡辺修◇ネオ・ハルト株 代表取締役 南浩一◇扶桑建設 (株) 代表取締役 星野宗保◇ 小池護◇(株)三ツ矢 代表取締 役 中村暢克◇(株)和光電気 代表取締役 本多康利◇中野	四プロック 顧問 大芝登◇都 營中神第二団地自治会 会長 山田恒男◇富士見ヶ丘団地自 治会 会長 降矢新吉◇昭島サ ンセルフ 高野裕志◇橋本工務 店 橋本誠一◇マツダドライサー ビス◇水村肉店◇昭島ガス株 代表取締役社長 平畑文興◇ 日清医療食品株東京支店 支 店長 渡辺修◇ネオ・ハルト株 代表取締役 南浩一◇扶桑建設 (株) 代表取締役 星野宗保◇ 小池護◇(株)三ツ矢 代表取締 役 中村暢克◇(株)和光電気 代表取締役 本多康利◇中野

※ 「同援だよりに名簿掲載希望欄」
へ○印をご記入頂いた方のみ掲載
しております。

ご支援ありがとうございました。
(敬称略順不同)

しせつ通信

◆福祉ホームさくらんぼ◆

さくらんぼの一階には地域住民の方々のための集会室があります。この集会室を多くの方に利用して頂くこと、また、障害のある方への理解を深めて頂くことをテーマに、年三回工夫を凝らした『集会室開放行事』を行っています。



今年度は、五月に豊島消防署の職員さんを講師に招き、「九十分で分かる救命入門コース」を開催しました。近隣の方や施設の職員の方など約二十名の方が参加されました。心臓マッサージ、マウスピースを使用した人工呼吸、AEDの使用方法など体験しながら学びました。利用者の方も参加され、人工呼吸や心臓マッサージを息を切らしながら熱心に行っていました。講習後は救命入門コース受講証を頒いています。これを持つている人は一年間の間にもう九十分の講習を受けることで救命技能認定証をもらえるそうです。来年度初旬にも救命講習を行う予定です。今回参加された方は、救命技能認定証をもらえる機会になればと考えております。

さくらんぼの一階には地域住民の方々のための集会室があります。この集会室を多くの方に利用して頂くこと、また、障害のある方への理解を深めて頂くことをテーマに、年三回工夫を凝らした『集会室開放行事』を行っています。

今年度は、五月に豊島消防署の職員さんを講師に招き、「九十分で分かる救命入門コース」を開催しました。近隣の方や施設の職員の方など約二十名の方が参加されました。心臓マッサージ、マウスピースを使用した人工呼吸、AEDの使用方法など体験しながら学びました。利用者の方も参加され、人工呼吸や心臓マッサージを息を切らしながら熱心に行っていました。講習後は救命入門コース受講証を頒いています。これを持つている人は一年間の間にもう九十分の講習を受けることで救命技能認定証をもらえるそうです。来年度初旬にも救命講習を行う予定です。今回参加された方は、救命技能認定証をもらえる機会になればと考えております。

八月には、小学生を対象に「宇宙風鈴を作ろう」と題しまして工作教室を開催しました。午前、午後の部とあわせて三十四名の方が参加して下さりました。

宇宙人をイメージした目玉がたくさんある生き物やキラキラとした素材を使つた可愛らしいものなど、皆さん親子で一緒に作つたり、宇宙風鈴を作つたり、完成した風鈴と一緒に写真を撮つたり、傘袋でロケットを作つて遊んで楽しめたりと、子どもたちの歓声でにぎやかな工

作教室になりました。

二月の集会室開放行事は、コンサートを行う予定です。今後もさくらんぼと地域の方をつなげる機会になるよう行事を計画、開催していくないと考えております。

(戸村 記)

◆ニユーフジホーム◆

平成二十六年十一月七、八日に、ニユーフジホーム「泊旅行」を河口湖で実施しました。

参加者は「ニユーフジホーム」と「グループホームかえで」のご利用者、職員そしてご家族の方々も参加されました。

旅行前日にご利用者の居室を訪ねると、着て行く服が準備されていることや、洋服を他の職員と買いに行くなど、とてもウキウキした様子が見受けられました。

当日は、女性のご利用者には、旅行気分を高めていたぐる為、お化粧をさせて頂き、ご利用者からも「きれいにしてくれてありがとうございます」との声が笑顔で聞かれました。またお化粧をしたご利用者同士で、「きれいいいわね」、「似合てるわよ」など声をかけ合う場面もあり、「旅行に行くぞ」という気持ちが最高潮に達した時に出発しました。

無事ホテルに到着し、客室に行くと、「わーきれいですね、こんなところに来られるなんて最後だと思ったら嬉しい」などご利用者のとても素敵な笑顔を見ることが出来ました。入浴では、職員もご利用者と一緒に温泉を楽しみました。こんな時にしかできない裸の付き合いはとても良く、ご利用者の本音が垣間見えました。場面や、職員がご利用者に背中を流してもらいう場面など、心からお互いが楽しめた良い機会になったのではないかと思





います。食事では、「ご利用者、ご家族、職員皆で乾杯をし、ご利用者はビールを一杯程飲み、「うまい、もう酔っぱらつてしまつたよ、ご飯もおいしいし最高だね」と話され、とても満足されているようでした。

一日目は河口湖猿回し劇団という所へ行き、猿の素晴らしい芸を皆で堪能しました。

「それでもご利用者は素敵な笑顔で「かわいいね、えらいね」と心から樂しまれている様子がありました。

すべてのプログラムが終了し無事に帰園。帰つてからも「本当に楽しかった、また行きたい」という声がご利用者から聞くことができました。

今回の旅行は日々施設という環境の中で生活を送つていくご利用者にとって、とても良い思い出になり、良い刺激になりましたのではないかと思います。

(廣瀬 記)

◆ みなど保育園 ◆

最近は、核家族化が進み、自分達の兄弟姉妹以外の小さい子どもたちと関わる機会が減つてきているかと思います。

みなど保育園では、「保育園を色々な方に知つてもらいたい。」との思いからボランティアの受け入れや保育園体験を毎年行つています。

参加される方の多くは、「子どもが好きだから」との声が一番多く聞かれます。また、「保育園てどんなところだろう」と興味を持っている方や「将来保育士になりたいから。」という理由で来られる方もいらっしゃいます。

参加されている方々の年代では、幅がとても広いのですが、小学生が一番多く、実はみなと保育園を卒園された方が主になつてゐる状況です。自分達より小さい子どもたちと一緒に遊んだり、また、私たち保育士のお手伝いをしながら、一日を過ごしてもらつています。終わつた後は感想を聞くと、「何をしていいのか始めは分からなかつた。」「どう遊んだらいいのか困つてしまつた。」また「言つこ

とを聞いてくれなくて困つた。」などの声が聞かれます。

そしてそのような感想の最後には、みんな口を揃えて「楽しかつた。また来たい。」との声も聞かれ、再びボランティア

や保育園体験に来てくれています。

小学生の子供たちにとって、このような体験をすることは、とてもよいことであり、またそいつた機会を提供することも保育園のもつ役割の一つだと思います。

このような年代を始め、今後も多くの方々のボランティアや保育園体験の受け入れをしていきたいと思います。

(嶋 記)



万世敬老園あらさご句会

ふきのとう

花咲くように芽を出して

太田 義子

落の薹

まだむらさきの丸みなり

月岡 久三

梅林の

ここは青梅の引込み線

畠中 禮

振り向けば

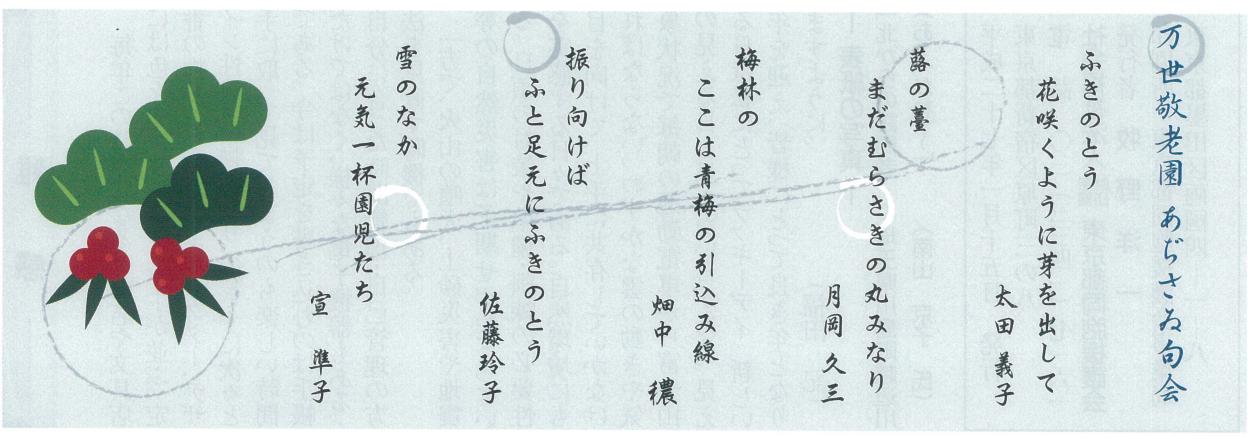
ふと足元にふきのとう

佐藤玲子

雪のなか

元気一杯園児たち

宣 勝子



祝表彰・感謝状受賞者

多年の功績とご協力に対し、次の方
が表彰されました。

おめでとうございます。

◎ 東京都功劳者表彰

昭島病院
院長 殿塚 典彦

◎ 東京都社会福祉協議会会長表彰

つつじが丘保育園
園長 上林 唱子

◎ 東京都社会福祉大会知事感謝状

企画部
事務員 大場 芳子

◎ 東京都民間保育園協会

永年勤続(三十年)表彰
大山保育園

保育士 後藤 友子

◎ 東京都社会福祉協議会児童部会

永年勤続(十年)表彰
永年勤続(十年)表彰

双葉園
保育士 倉持 謙由
保育士 八巻美香子

バザーのお礼



雜感

補助事業完了のお知らせ

フジホーム

「東京都共同募金会N H K歳末たすけあい」から補助金をいただき、機械式特殊浴槽の入れ替えが完了しました。

入浴時の更なる安心・安全が図られ、利用者の皆様は快適な入浴ライフを送っています。

本当にありがとうございました。



毎年この時季になると書店や文具店には色々な手帳やカレンダーが並ぶ。定番の物から、かわいいキャラクター、デザイン性の高い物とあり、飽きずに次々と手に取つて見てしまうのも楽しい時間である。今は予定を書き込むのは手帳だけではなく、様々な電子機器もある。自分に合った時間管理・自己管理の方法を見直す時機もある。

一方で、火山の噴火、土砂災害や地震等の自然災害は予期せず起つていい。日頃の対策や準備・訓練の必要性を実感する日々である。自然環境にも目を向けて、上手に共存していかなければならぬ。わずかな雲の動きや気象状況で毎朝の通勤電車から富士山の見える日と見えない日がある。見える日は私にとってラッキーデイ。新しい年を迎える日と見えない日がありますように。

(福田 記)

— 表紙の写真 —

「北からの訪問者」～埼玉県川島町越辺川
(あづかわ)～ (南山 京子 氏)

平成二十七年一月十五日 発行
東京都新宿区原町三の八
電話 ○三(三三四二)七一六一
社会福祉法人 東京都同胞援護会
発行者 牧野洋一
印刷所 東京都同胞援護会事業局
東京都墨田区両国四一一八